

事業名	人と環境にやさしい農業 松川モデル事業
事業主体 (連絡先)	ナチュラルアース松川 小原 健
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業 イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2, 471, 050円 (うち支援金: 1, 616, 000円)

平成19年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業内容

畜産農家が現在自作採草地へ還元している牛のし尿に、バイオ酵素を利用しアミノ酸を含む有益な酵素発酵液肥を作ります。地元の畜産農家と連携することにより安価な酵素発酵液肥を手に入れることができます。

低農薬・低化学肥料により環境への負荷軽減及び農家の所得向上を図ります。

酵素発酵液肥の利用促進により、地域内における人と環境にやさしい農業(野菜・米・果樹・花卉)の普及を図る。

酵素発酵液肥プラント 1基



【ブルーベリーに酵素液肥を散布】

自己評価(事業実施率) 【A】

事業効果

・し尿・バイオ酵素により発酵酵素液肥を製造し地場菌を有効利用することによる環境負荷の軽減。減農薬(50%以上)・減化学肥料

・低コストによる農業収入の増加

・産地化・ブランド化による地域活性化

環境にやさしい農産物松川のブランド化を図る。

・モデルの構築における今後の普及

耕作面積の増進

・減農薬・減化学肥料による「安全安心」な食の提供

【目標・ねらい】

- 発酵酵素液肥製造を製造、使用し、環境負荷の軽減。
- 減農薬・減化学肥料
- 低コストによる農業収入の増加
- モデルの構築における今後の普及
- 「安全安心」な食の提供

自己評価(目標達成率) 【A】

今後の取り組み

・会員を100名規模まで増やし、100ha以上の利用栽培面積を広げて行く。

・特別栽培研究部を設け、会員相互の栽培情報交換、対象区域栽培を行い、作物別栽培基準を作成し、液肥による栽培コストの軽減と、環境にやさしい循環型農業を確立していく。

・販売促進部会を設け、消費者ニーズに合った、安心安全で味の良い農産物のブランド化と有利販売を進めていく。

・液肥の成分分析を行い、特殊肥料登録を取り、対外的にも認められる酵素発酵液肥にする。

・飯田・下伊那地区に広め、ネットワーク化していく。